

令和5年度 第3回八代市男女共同参画審議会 会議録（要旨）

日 時：2024年1月10日 14:00～14:40

場 所：八代市千丁支所2階大会議室

出席者：重本会長、古閑副会長、亀田委員、古賀委員、澤委員、白井委員、
中津委員、村本委員、森下委員、山口委員、山本委員

欠席者：永吉委員

事務局：嶋田部長、吉井次長、坂井課長、溝俣課長補佐、松岡課長補佐、
山下室長、宮崎主事

計画策定業務委託業者：古賀、坂田

傍聴者：無し

次第 1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) パブリックコメントの実施結果について

(2) 今後の流れについて

(3) 女性の登用促進に関する取組について

4 閉 会

議題（発言要旨）

(1) パブリックコメントの実施結果について

○事務局

〈説明〉

○A委員

少し補足説明をさせていただきたい。実は「用語説明」は、今回の第3次計画は基本的に第2次計画と全く一緒である。従って、少し世の中が変わったことについて書き込んだ方がいいのではないかということで、提案させていただいた。

まず、「性自認・性的指向」「LGBT」である。八代市はこの項目を第2次計画の中に入れており、5年前にこれが入っているところにはない。この部分については、馴染みの少ない言葉であるため、丁寧に文章として説明した方がいいと思う。つまり、一語一句のQ&Aではなく、文章とした方が、3つの言葉の関係や違いが説明でき、理解を得られるようになる。もう一つは、非常に様々な議論が出てくる文言については、市が独自に考

えたものではなく、国や県が使っている言葉を使うことで、私たちの判断だけではなく、国や県の意向を反映したという説明ができる。そういった意味で、県の計画は、非常によくまとまって説明がよくできていると思ったので、「性自認・性的指向」「LGBT」については、原案では3つバラバラのQ&Aだが、一つの文章の中にまとめた方がいいかと思う。

次に、「女子差別撤廃条約」を追加してはどうかと思う。というのは、女性に対する差別が何かというのは、実はほとんど明確ではない。ただ、女子差別撤廃条約だけは、「女子に対する差別とは」から出発するので、言ってみれば、男女共同参画の原点というか、出発点ということで、入れておかれた方がいいかと思う。

次に、「ダイバーシティ」だが、今回、多様性がキーワードになったので、そのことを説明するために入れておかれた方がいいかと思う。

最後に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」については、計画本文の中に書いてはあるが、あえて用語解説の中に追加しておくのも周知のためには、いいかと思う。

追加分についても基本的には県の第5次計画の用語解説を参考に作成してあるので、そういった意味では、このこと自体に問題がある文章はないというふうに判断している。

○会長

用語説明を国や県に依拠して、追加するということでよろしいか。

《了承》

(2) 今後の流れについて

○事務局

〈説明〉

○会長

この会議の後に計画案の市長決裁ということだが、内容については尊重していただけるということかと思う。市長決裁の後には、議会総務委員会、4月の定例記者会見で報告ということで、これが冊子になるのはいつになるのか。

○事務局

3月末までには冊子を完成させ、4月から配布できるように準備したい。

○会長

他に意見がなければ、了承ということでよいか。

《了承》

(3) 女性の登用促進に関する取組について

○事務局

〈説明〉

○会長

八代市協働のまちづくり推進委員会の女性委員の割合が27%から54%と倍になって、4割を超えている。やればできるものだと思う。事前協議制の導入はありがたいと思うので、この八代市協働のまちづくり推進委員会のように、他の部署でも取り組んでいただきたい。ただ審議会次第では、なかなか女性の割合を上げられないところもあるかと思うが、全体として、目標の40%に少しでも近づくようにしていけたらと思う。

○B委員

市職員の人数と男女の割合、人数を教えてください。

○事務局

今、調べているので、時間をいただければ、この場で回答できると思う。

○C委員

パブリックコメントが今回20日間だけだったが、男女共同参画のことにに関して意見がなかったというのは、あまり記憶になく、実に珍しい状況だと思う。それほどしっかりした計画になっていたのかなと思う反面、パブリックコメントがあることを、お知らせする努力を自分が怠ったかなという気もあり、意見がないというのがすごく意外である。

○事務局

今、他部署で実施しているパブリックコメントがあるが、これらと変わらない期間は設けたところである。ただし、閲覧場所については、他のパブリックコメントはホームページ

ジと市役所本庁舎情報プラザ、各支所に設置して実施しているが、本件は、さらにコミュニティセンターと各出張所にも設置して、市民の方の目に触れる機会を多く設けさせていただいた。しかし、結果的に意見なしということである。

それから、職員総数だが、令和5年4月1日現在で1,169人である。このうち、女性が481人、女性の割合が41.1%である。

○A委員

おそらく30歳以下にしたら男女半々ぐらいだと思う。若い層は大体採用実績が一般的にそうになっている。

○会長

パブリックコメントについても、目に触れる機会を増やしていただいたということで、結果として意見がなかったということだが、第2次計画のときには、色々と意見が出てきたと思う。また、傍聴もあった。傍聴があると、いい意味での緊張感を持つことができる。

今後は計画の進捗管理に移るが、せっかくこれだけの話し合いを重ねて策定したので、委員の方からもぜひこういう内容で今取組んでいるということを広げていただきたい。お見受けすると色々な諸団体に入っておられる方たちが多いので、ぜひ広げていって、八代を先進地にしていただけたらと思う。

アイスランドが男女共同参画では世界で一番進んでいるが、それでもなお、デモを行っている。それは、自分たちが世界一だから、もっと高めなければならないということで行っている。一番だからと慢心するのではなく、それを広めていくのが自分たちの一つの責務だと強い意識を持っておられるから、14年連続世界一が保てるのだと思う。

これで議題を終わる。

≪議題終了≫

≪閉会≫